

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、

未来を担う 白根こまっ子 ～

令和8年3月25日 最終号 文責 保坂 泉(校長)

## 令和7年度が終わります！

1年生が入学した頃が、つい先日のような気がします。早いもので令和7年度が今日で終わりを迎えます。振り返ってみるとすべての学年で様々な活動がありました。その活動を経験してきた子供たちは、多くのことに気づき、考え、自分なりの方法を見だし、諸々の課題を解決してきました。そのことで彼らは少しずつ少しずつ力を身に付け成長を遂げることができました。

個によって多少の差はあるかもしれませんが、4月から比べてできることが増えてきていると感じています。時には思うようにならず、悶々としたこともあったと思います。時には友だちに助けられながらできるようになったこともあったと思います。しかし、できるようになることを目標に努力を積み重ねることが大切だと感じることができたのではないのでしょうか。結果だけにとらわれることなく、その努力を大きく評価してあげることが私たち大人が気をつけなければならぬことだと思っています。経験することの大切さ、努力することの大切さが人を大きく成長させてくれます。そして、その成果が次へ繋がる大きな糧となっていきます。飯野小の子供たちは、今年度の成果を糧にして来年度も大きく大きく成長を遂げてくれると信じています。

子供たちが生き抜いていく未来は、想像できない技術の進歩により予測困難な難しい社会になることが考えられます。その未来を生き抜いていくには、今を大事にして多くの力を身に付け、困難を乗り越えていってもらわなければなりません。飯野小の子供たちが素晴らしい人生を歩めるよう、一日一日を大切に過ごしていってくれることを願っています。

ご家庭におかれましては、これまで飯野小学校の活動に余りあるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。この1年、毎日、子供たちが明るく元気に登校し充実した学校生活を過ごすことができたのは、ご家庭のご支援があったからだと感じております。さらに飯野小の子供たちが充実した成長を遂げられるよう、来年度においても変わらぬご支援を賜れることをお願い申し上げます。

先日卒業式を終えてから「昨日があるから今日がある 明日のために今日がある」という、どこかで目にしたキャッチフレーズが、最近、頭から離れません。当然と言えば当然のことですが、生きていく上での大切なことを感じさせてくれるフレーズです。そして、担任時代に子供たちと一緒に歌った「Tomorrow」を思い出します。明日への希望を与えてくれます！

♪ 時の流れ いつでも 駆け抜けて行くから  
優しさだけ 忘れずに抱きしめていよう  
大空を 自由に 鳥たちが  
光の中 飛びかうように  
夜空から こぼれた星くずが  
波の上を 滑るだろう

tomorrow tomorrow

また明日が

素晴らしい夢と 素敵なメロディー

運んでしてくれるだろう

tomorrow tomorrow

明日を信じて

翼ひろげ 飛んでみよう ♪



## ～ 覚えていてくれているでしょうか？ ～

学校だよりの題名「桜梅桃李(おうばいとうり)」ってなかなか耳にしない言葉です。この飯野小学校の環境にはピッタリの言葉ではないかと感じています。そして、この言葉の意味を紐解いていくと、飯野小の目指す児童像があると感じたので、迷わずにこの題名をつけることにしました。以前、その意味をご紹介しましたが、この言葉は、「人はそれぞれ自分自身の個性や特長を持っており、それぞれが違う」ということを表しています。「桜」「梅」「桃」「李」は、共通するものをもった花ですが、それぞれ違う特徴を持つ花の名前です。このように、似て非なる異なった特性を持つ花々が並ぶ様子から、人々も自分自身の個性を大切に、自己主張を忘れずにいるべきだという意味が込められています。本校の児童が、他を認めながら自分を大切に、その良さを十分に発揮してもらえる子供になってもらいたいという願いが込められています。



◆どの花が「桜」「梅」「桃」「李」か分かりますよね (^^♪

### 今さらですが・・・

先日行われました卒業式で、卒業生に贈った「はなむけの言葉」の一部を紹介します。

卒業にあたり、皆さんに覚えておいてほしいことをお話しします。

「凡事徹底」という言葉があります。これは、「誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して、継続してやり抜く」という意味です。かつて、荒れた学校や会社を、たった一人で「掃除」をすることで立て直したイエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんという方がいます。彼は、掃除という平凡なことを徹底することで、人の心が磨かれ、やがて運命さえも変わっていくことを証明しました。皆さんがこの学校で積み重ねてきた「靴をそろえること」「黙って掃除をすること」「本を読み、心を整えること」は、一見、当たり前のことかもしれませんが、しかし、これらを愚直に継続できる皆さんの力は、決して当たり前ではありません。それは皆さんの「人格」という大きな根っこを育てているのです。

心理学者の言葉に、このようなものがあります。

「行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる」

もしこれから、辛いことや壁にぶつかることがあっても、「自分は今、鍛えられているのだ」と捉えてください。皆さんが培ってきたこの「良き習慣」は、これから出会う新しい仲間や先生方から、必ずや深い信頼を得る土台となるはずです。

卒業生だけでなく、在校生のみなさんにも伝えたかったお話です。ぜひ心に留め置いて少しずつ実践してもらえると、より豊かな人生を歩めることになると思います。

【今年度最後の校長の独り言・・・】(振り返ってみてつくづく思います。)

飯野小に勤めて、この子供たちと出会えてよかったなあ。理解ある保護者の皆さまと出会えてよかったなあ。来年度は、どんなことが待っているんだろ？ 楽しみでもあり、不安でもある。でも、何とかなるさ！  
この一年、【校長の独り言】にお付き合いいただきありがとうございました。<m(\_\_)>